歩行時に身体が左に傾くパーキンソン病 患者様へのアプローチ 歩くときに、左で支える際に、左股関節から身体が左に傾きます





左の骨盤を起こし、左の腸骨筋、大殿筋、中殿筋の活動を促したのち、立ち上がります





## 自室にお戻りの際には、左への傾きが軽減しています

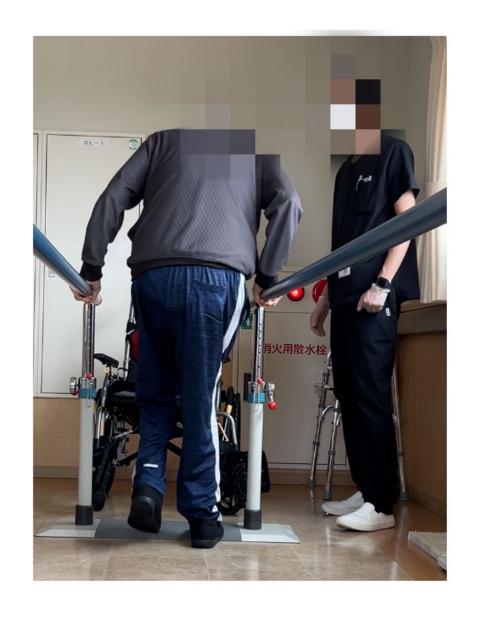




背中が曲がっていることで、歩く際に下肢も曲がって しまうパーキンソン病患者様へのアプローチ

## 歩行の際に、右前に倒れそうになられます



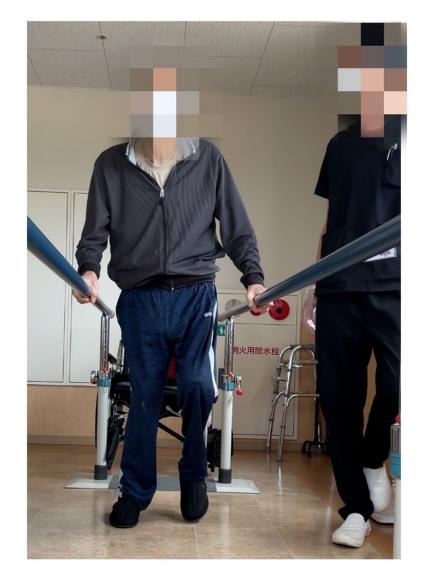


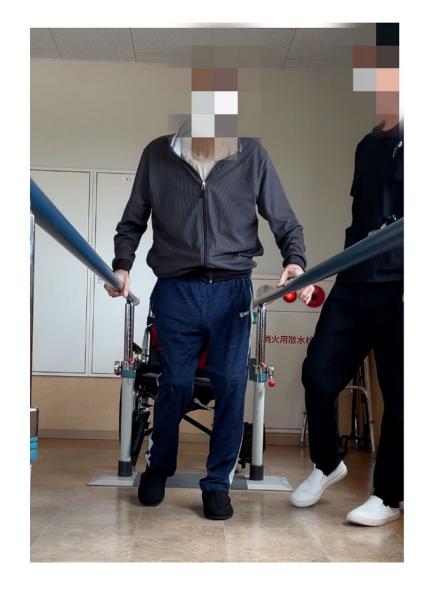


腹直筋を伸張することで、背中の筋肉が 働きやすくなり、背すじが伸びます

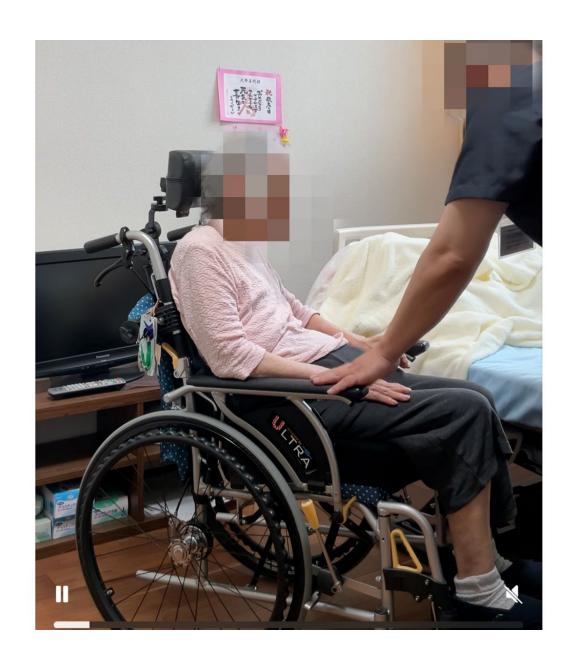
これに伴い、下肢も伸びました

胸を張って大股で歩く練習につなげ、持久走の向上につなげ ました

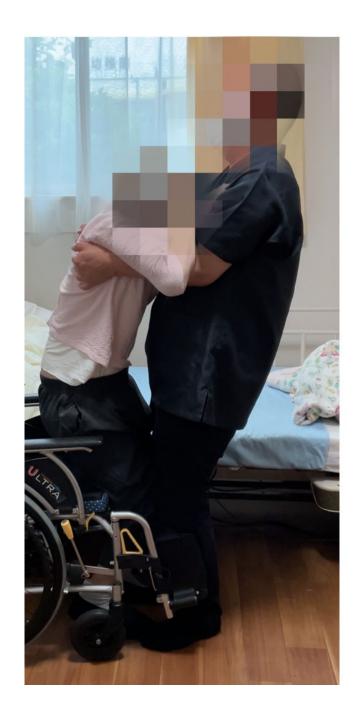




車椅子座位にて、徐々に背中が曲がってしまう パーキンソン病患者様へのアプローチ



背中が丸まり、 徐々に浅い座位に なられます



立ち上がりのなかで、胸郭と骨盤の間を広げ、腹直筋を伸張します

これと共に背すじを伸ばすようにお願いし、背中の筋肉の活動を促します



腹直筋が伸張できた ことで骨盤が起きや すくなり、背すじが 伸びました

この姿勢にてお食事 を召し上がっていた だけるように支援し ていきます